



6 わり算の筆算（2）

学 年		組		氏 名	
--------	--	---	--	--------	--

① ちえ先生は、40さつのノートを20人いるクラスの全員に同じ数ずつくばることにしました。そこで、ちえ先生は、クラスのかずゆきさんと $40 \div 20$ の計算のしかたについて話し合いました。次の文は、ちえ先生とかずゆきさんの会話です。①～③にあてはまる数を書きましょう。

【ちえ先生】
「40は10を何こ集めた数ですか。」

【かずゆきさん】
「(①) ことです。」

【ちえ先生】
「はい、そうですね。それで 20は10を何こ集めた 数ですか。」

【かずゆきさん】
「(②) ことです。」

【ちえ先生】
「そうですね。それでは、 $40 \div 20$ を10をもとにして考えてみましょう。式はどうなりますか。」

【かずゆきさん】
「(①)) \div (②)) = (③)) になるので、
 $40 \div 20 =$ (③)) だと思います。」

【ちえ先生】
「そのとおりです。1人 (③)) さつずつくばることになりますね。」

② 次の計算をしましょう。

(1) $90 \div 30$

(2) $150 \div 50$

()

()

(3) $240 \div 60$

(4) $490 \div 70$

()

()

③ 次の計算について、①、②の部分が正しいければ○を、まちがっていれば正しい数を書きましょう。

$$130 \div 20 = \underset{\uparrow \text{①}}{5} \text{あまり} \underset{\uparrow \text{②}}{30}$$

① ()

② ()